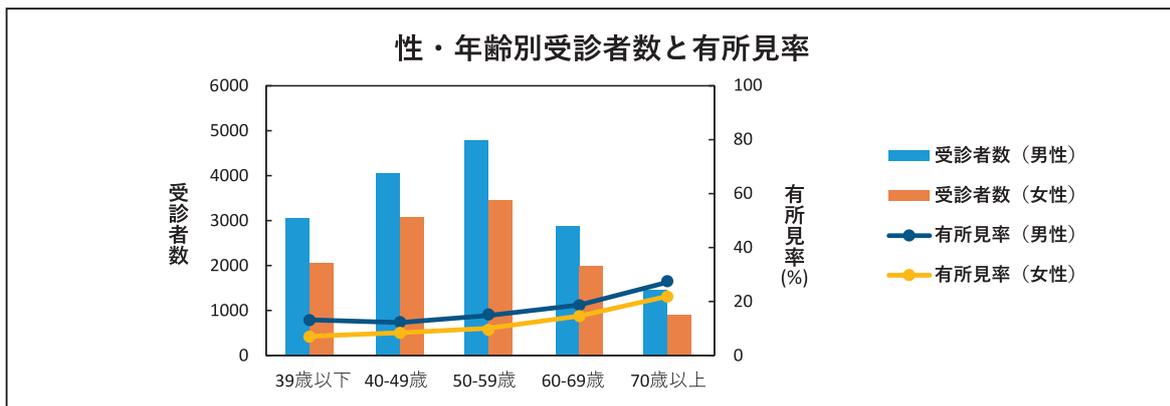


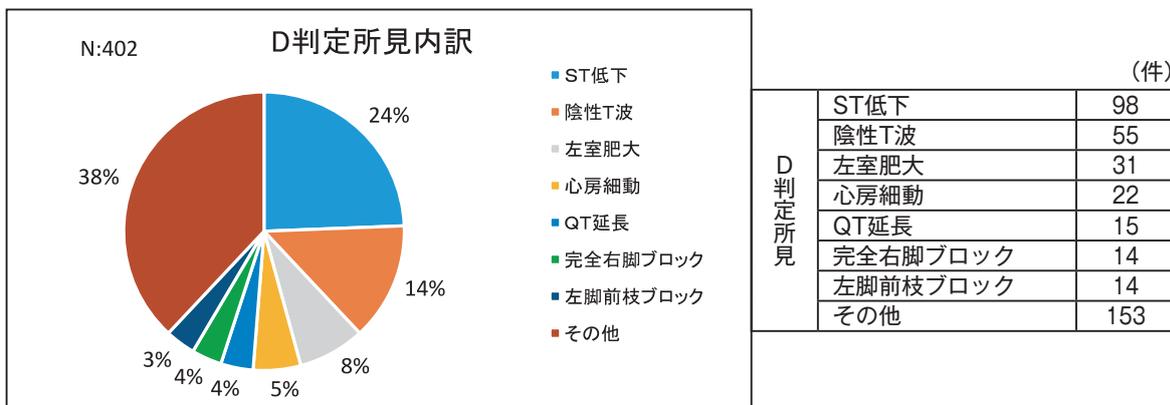
安静時心電図検査

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	3,049	2,663 (87.3)	362 (11.9)	20 (0.7)	4 (0.1)
	40-49歳	4,052	3,572 (88.2)	434 (10.7)	33 (0.8)	13 (0.3)
	50-59歳	4,766	4,064 (85.3)	563 (11.8)	87 (1.8)	52 (1.1)
	60-69歳	2,868	2,350 (81.9)	388 (13.5)	57 (2.0)	73 (2.5)
	70歳以上	1,464	1,071 (73.2)	276 (18.9)	26 (1.8)	91 (6.2)
女性	39歳以下	2,053	1,913 (93.2)	134 (6.5)	5 (0.2)	1 (0.05)
	40-49歳	3,067	2,815 (91.8)	234 (7.6)	14 (0.5)	4 (0.13)
	50-59歳	3,448	3,106 (90.1)	305 (8.8)	27 (0.8)	10 (0.3)
	60-69歳	1,980	1,696 (85.7)	248 (12.5)	26 (1.3)	10 (0.5)
	70歳以上	877	686 (78.2)	159 (18.1)	13 (1.5)	19 (2.2)
計		27,624	23,936 (86.6)	3,103 (11.2)	308 (1.1)	277 (1.0)

安静時心電図検査の受診者数は27,624人、このうち要精検者数は308人(1.1%)、治療中は277人(1.0%)でした。



受診者数は27,624人、このうち有所見者数は3,688人(13.4%)。男女とも加齢とともに有所見率が増加しています。



心房細動と判定された1人と、心房粗動と判定された1人は、アブレーション施行となりました。完全房室ブロックと判定された1人は、ペースメーカー植え込み術施行となりました。

安静時心電図検査所見

	男性	女性	総計
要精検者数	408(2.5%)	137(1.2%)	545
受診者数	16,199	11,425	27,624
QT延長	11	4	15
軽度のQT延長	2	0	2
Q波	1	4	5
異常Q波	1	1	2
rsr'パターン	1	1	2
R波増高不良	2	2	4
S1、S2、S3パターン	0	1	1
ST・T異常	7	3	10
ST上昇	1	0	1
ST低下	66	32	98
WPWパターン	0	1	1
WPW症候群	3	0	3
ブルガタ型	8	0	8
陰性T波	46	14	60
平低T波	16	3	19
増高T波	3	0	3
巨大陰性T波	4	1	5
右房拡大	1	0	1
右室拡大	0	1	1
右室肥大	1	0	1
左房拡大	1	0	1
左室肥大	28	5	33
冠状静脈洞調律	1	0	1
不完全右脚ブロック	3	1	4
完全右脚ブロック	18	1	19
完全左脚ブロック	4	1	5
左脚前枝ブロック	16	1	17
第I度房室ブロック	9	1	10
完全房室ブロック	0	1	1
高電位	8	1	9
左軸偏位	10	3	13
時計回転	1	0	1
反時計回転	0	3	3
上室性期外収縮	6	3	9
上室性期外収縮(shortrun)	5	2	7
上室性期外収縮(二段脈)	0	1	1
上室性期外収縮(連発)	1	1	2
心室性期外収縮	7	5	12
心室性期外収縮(二段脈)	2	1	3
心室性期外収縮(多形性)	2	0	2
心室性期外収縮(連発)	0	1	1
心室内伝導障害	3	0	3
心房細動	20	3	23
心房粗動	1	0	1
発作性心房細動	1	1	2
心房頻拍	1	0	1
早期再分極	10	2	12
陳旧性心筋梗塞	35	12	47
洞機能不全症候群	3	2	5
洞性徐脈	2	1	3
洞性徐脈(高度)	5	0	5
洞性頻脈	3	0	3
洞性頻脈(軽度)	17	10	27
洞性頻脈(高度)	1	0	1
洞停止	2	0	2
洞房ブロック	0	2	2
二束ブロック	3	0	3
徐脈	1	0	1
頻脈	2	2	4
房室接合部性補充収縮	1	1	2
房室接合部調律	1	1	2

赤字は紹介率50%以上の所見